

# ☆放課後子ども教室☆

気づけば師走。長かった2学期も残りわずかとなり、クリスマスや冬休みを前にしたウキウキ感が子どもたちからも伝わってきます。ケガや病気、事故に気をつけて楽しい冬休みを過ごしてほしいものです。

11月後半のプログラムでは、旬のリンゴを使ったおやつ作りや、秋の運動会を行いました。昨年も好評だったリンゴのおやつ作り。リンゴをバターと砂糖で煮たものを、春巻きや餃子の皮に包んで揚げ、アップルパイ風のおやつを作りました。具材の包み方にも個性が見えます。きっちり四角く折りたたむ子もいれば、丸めたり、シューマイのような形にしたりする子もいました。成形し、油で揚げるところも自分たちで行います。やけどをしないよう、トングや菜箸を上手に使いながらひっくり返し、きれいなきつね色に。出来たおやつはみんなで大いただきます！出来たては熱くて食べるのに一苦労していましたが、自分で作ってみんなで食べる時間を楽しんでいた様子でした。



11月から小学校の体育館は改修工事を行っています。工事に伴い、放課後教室の活動に学校の体育館が利用できないという状況が2月末頃まで続く予定です。基本的には校庭や学校林など屋外での活動や、学校のホール、福祉センターの集会室などでできる内容を考えていますが、天気に左右されず、思いっきり体を動かせる環境をつくりたいということで、スポーツセンターや旧富野小学校に移動して活動を行えるよう対応しています。秋の運動会は、久しぶりにスポーツセンターや富野小の体育館を使って、リレーやドッチビー、借り人競争などの種目を行いました。汗だくになりながら半袖で駆け回る子どもたち。バドミントンやキャッチボールなど、最近はあまりできていなかった遊びも、友だち同士、和気あいあいと過ごしていました。

12月前半のプログラムでは、静電気を使ったミニ実験や、地元の稲わらを使ってしめなわ作りを行いました。ミニ実験は、数人で隣の人と手をつないで輪を作り、簡単な装置を使い、みんなで静電気に触れてみるという実験です。パチっという音とともに、子どもたちの「キャー！電気ビリってきた！！」というにぎやかな声が響きました。また、雪が降る日も増え、校庭に雪が積もっている日は、自由時間に外での雪遊びも満喫。雪だるまや基地を作ったり、学校林に探検に出かけたりしています。この時期、放課後教室が始まったときから毎年恒例となっているしめなわ作り。お米を作っている農家さんから稲わらをわけていただき、来年も良い一年になるように、と願いを込めて作りました。ご家族がそろう場所に飾ってもらえたらと思っています。良いお年をお迎えください。

